



Injection for Innovation

つなぎ、はぐくむ、日精のモノづくり

2019年3月期 第3四半期 の決算概要について



日精樹脂工業株式会社

2019年2月8日

2019年3月期第3四半期 業績の概要

単位:百万円 ()内前期比

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 た り 純 利 益
2019年3月期 第3四半期	32,242 (3.6%)	2,825 (6.2%)	2,858 (0.3%)	2,061 (2.0%)	103.12円
2018年3月期 第3四半期	31,130 (15.9%)	2,659 (25.7%)	2,849 (76.6%)	2,021 (66.8%)	101.13円

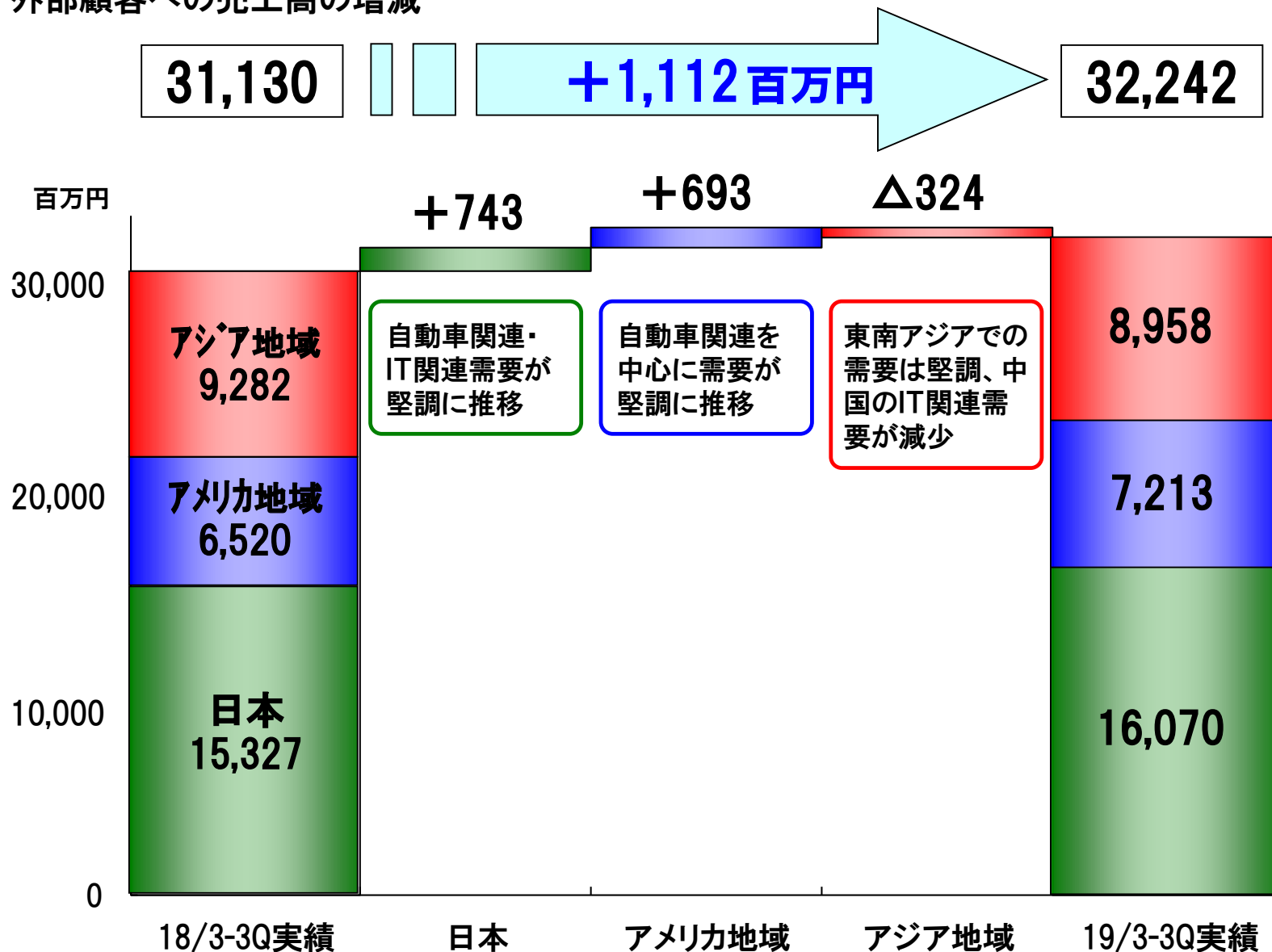
売上

- ・ 国内や北米において、主力の射出成形機の需要が概ね堅調であったことから、売上高は前年同期比3.6%増の322億4千2百万円となった。

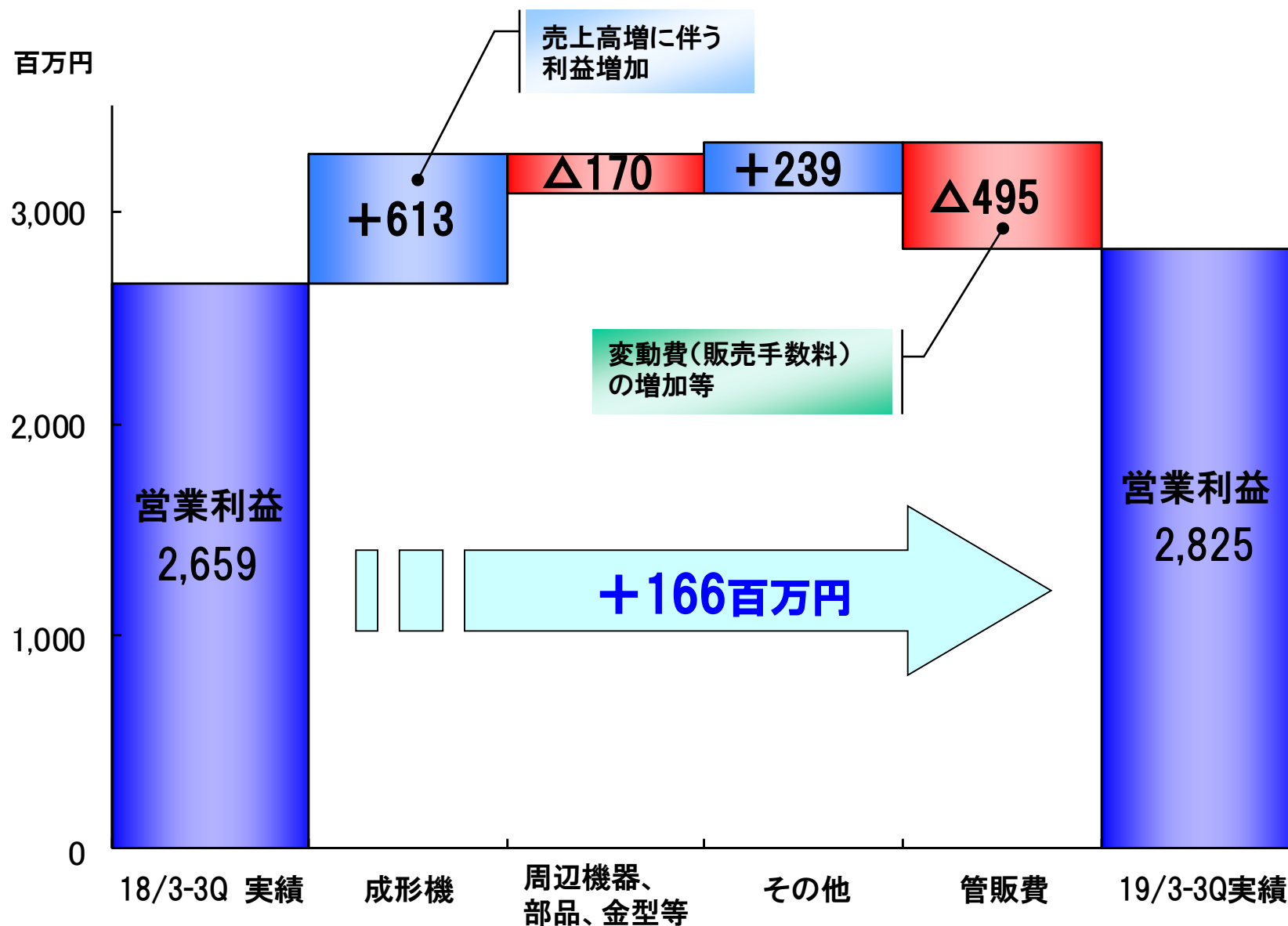
利益

- ・ 営業利益は、射出成形機の売上が増加したこと等から、前年同期比6.2%増の28億2千5百万円。
- ・ 経常利益は28億5千8百万円(前年同期比0.3%増)、当期純利益は20億6千1百万円(同2.0%増)となった。

外部顧客への売上高の増減



連結営業利益(製品別)増減 [2018/3期3Q⇒2019/3期3Q]

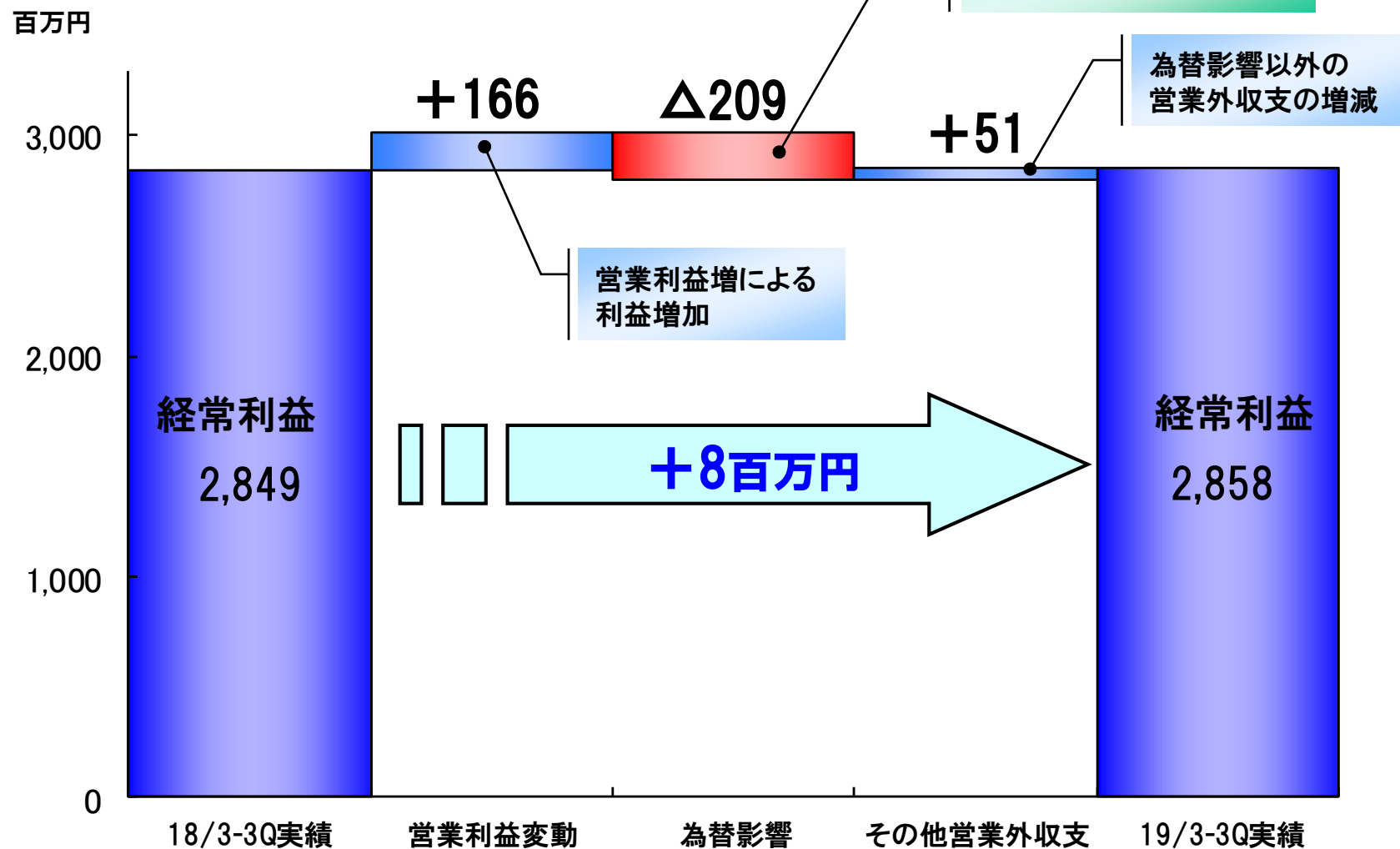


連結経常利益の増減 [2018/3期3Q⇒2019/3期3Q]

\$円レート: 期初 ¥106.24 ⇒ 12/末 ¥111.00
元円レート: 1/初 ¥17.29 ⇒ 9/末 ¥16.50

18/3期3Q 為替差損 34

19/3期3Q 為替差損 243

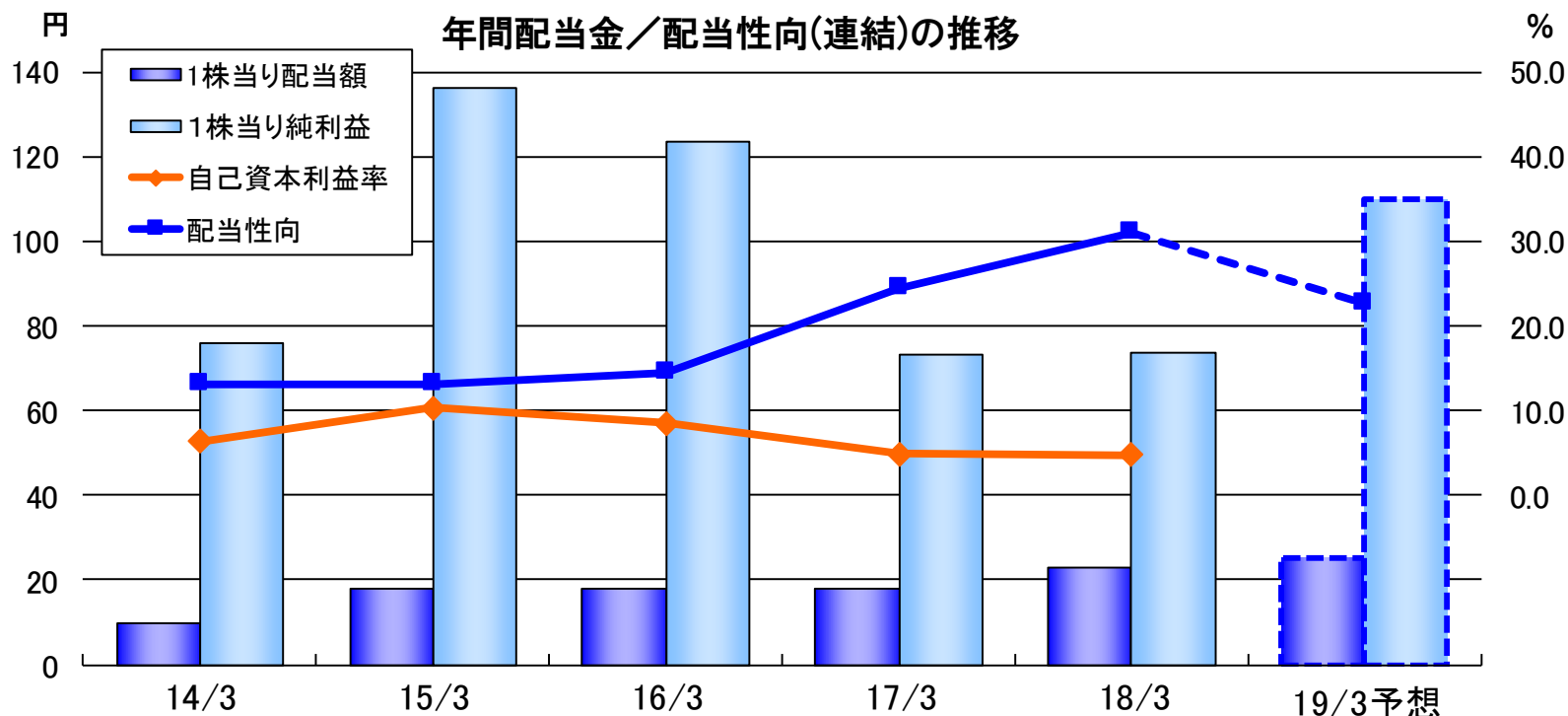


今期計画と進捗について

単位：百万円、比率%

	2018/3期 実績	2019/3期 連結計画		2019/3期3Q 連結実績	
		通期	対前期 増減 %	3Q実績	対通期計画 進捗率 %
売上高	42,321	45,500	7.5	32,242	70.9
営業利益	3,103	3,400	9.6	2,825	83.1
(利益率)	7.3	7.5	—	8.8	—
経常利益	3,354	3,500	4.3	2,858	81.7
(利益率)	7.9	7.7	—	8.9	—
四半期純利益	1,476	2,200	49.0	2,061	93.7
(利益率)	3.5	4.8	—	6.4	—

・2019年3月期 年間配当は、1株について25.00円(中間10.00円、期末15.00円)を予定。



	2014/3月期	2015/3月期	2016/3月期	2017/3月期	2018/3月期	2019/3月期 (予想)
1株当り純利益	76.04円	136.54円	123.77円	73.45円	73.85円	110.07円(予)
1株当り配当額	10.00円	18.00円	18.00円	18.00円	23.00円	25.00円(予)
中間配当	4.00円	5.00円	8.00円	8.00円	13.00円	10.00円
期末配当	6.00円	13.00円	10.00円	10.00円	10.00円	15.00円(予)
配当性向	13.2%	13.2%	14.5%	24.5%	31.1%	22.7%(予)
自己資本利益率	6.4%	10.4%	8.6%	4.9%	4.8%	

トピックス

インド・チェンナイに販売現法の支店を開設



首都ニューデリー近郊のグルガオンに設立済みの販売現地法人の支店として、南東部の主要都市チェンナイに事務所を開設しました。
チェンナイ周辺には、ダイムラー、ルノー・日産、フォード、現代、BMW等の完成車メーカーが工場を構えており、多くの大手部品サプライヤーも進出を加速させていることから、グローバル戦略の一環として、主にサービス体制の拡充を図ることが目的です。

同事務所は、チェンナイ国際空港と市街地との中間地点にあり、チェンナイ近郊の北部・西部・南部に広がるユーザーをカバーするのに交通至便な立地となっている。

拠点名: Nissei Plastic (India) Private Ltd. Chennai Office
所在地: Plot No.33-B, South Phase, Guindy Industrial Estate, Chennai 600032, India
スタッフ: 本社出向者1名、ローカルスタッフ1名(予定)
業務開始日: 2018年12月1日

2018.12

QC棟(品質管理棟)が竣工



今年8月より建設中であったQC棟が無事竣工し、神事を執り行いました。

なおQC棟は、研究開発センターに次いで2棟目のZEB実証事業に採択され、省エネ性能の高い建築物となっています。

1月25日に竣工。
3次元測定器などの設備
機器を設置・立上げ後、
4月より本格稼動予定。



QC(品質管理)棟建設の目的:

産業機械業界では、射出成形機をはじめ、工作機械や半導体製造装置の需要が高水準で推移
⇒ 調達部材の逼迫による納期遅延、原材料価格の高騰、部品加工メーカーが多忙で加工の遅れ
⇒ 対応策として、①海外調達部品や内製加工部品の拡大、②部品加工の協力工場の増強を推進
⇒ 一層の品質管理体制の強化を図る必要から、QC棟を新設し、最新の検査設備を導入へ

2019.1.25

ZEB
LEADING
OWNER
ZEB29L-00049-F

BELS Building-Housing Energy-efficiency Labeling System

建築物省エネルギー性能表示制度

この建物の
断熱一次エネルギー消費量 57%削減
(2006/10/1時)

少ない ← 0 57 100 → 多い

一次エネルギー消費量基準 適合 1級消費量 1.29MJ/㎡・時
削減率 50%-64%

日本建築工業株式会社 Q 棟
2018年9月28日交付
国土交通省省令第18号に基づき国土省認定
(日本住宅性能表示制度)



日精樹脂工業株式會社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
